

## ラグビーワールドカップ 2019™における東京スタジアムの会場運営計画の更新案について

- 会場運営計画は、ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会と開催都市が協議し、試合会場における施設及び諸室の配置等について定めるもの
- 大会開催に向けた準備の進展にともない、平成 29 年 3 月に策定した会場運営計画の更新を行う

### 更新のポイント

	項目	主な課題	対応の方向
1	芝フィールド	決勝トーナメントを含む計 8 試合が行われる芝フィールドの耐久性の確保	スクラム等の負荷に対して高い耐久性を有するハイブリッド芝を採用
2	競技用照明	インゴール周辺について必要な照度が不足	スタジアムの屋根下(4 か所)に競技用照明を仮設設置
3	放送関連施設	放送事業者が国際放送のための映像編集等を行う施設の配置	スタジアム北側駐車場の一部を利用
4	ホスピタリティ・スペース	スポンサーやホスピタリティプログラム購入者が利用するホスピタリティ・スペースの更なる確保	スタジアムバックスタンド側諸室、武蔵野の森総合スポーツプラザのメインアリーナに加え、サブアリーナを利用
5	交通輸送	大会ゲストやスポンサー等の関係車両のための駐車スペースが必要	スタジアム周辺の既存駐車場等を活用(約1,650台分)

# 東京スタジアムの会場スペース割当案

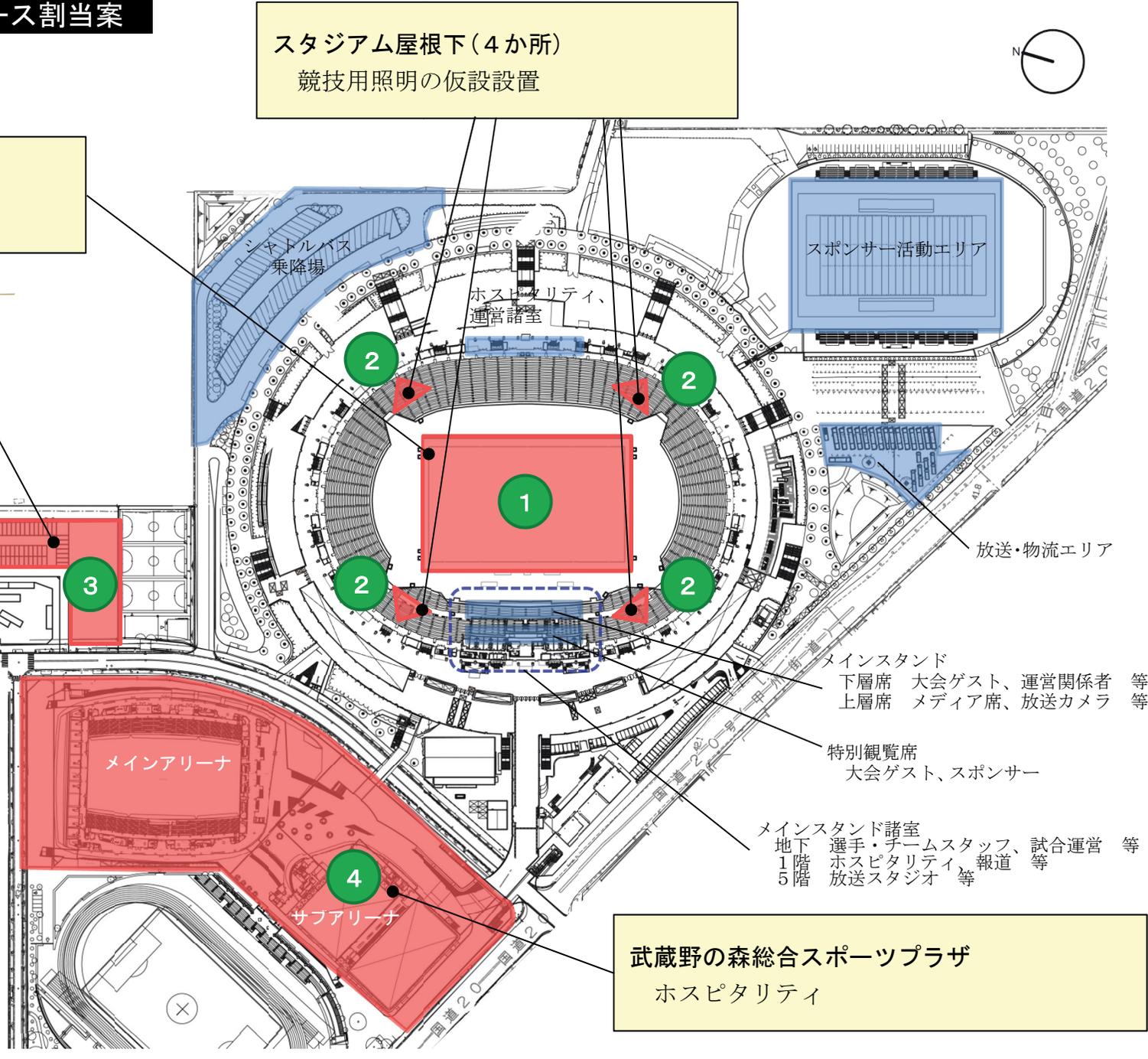
スタジアム屋根下 (4か所)  
競技用照明の仮設置

芝フィールド  
ハイブリッド芝の導入

スタジアム北側駐車場  
国際放送センター

5  
関係者駐車場候補地

- ・スタジアム駐車場 (本体下駐車場、北側駐車場等)
- ・武蔵野の森総合スポーツプラザ駐車場
- ・武蔵野の森公園第1・2駐車場
- ・調布基地跡地運動広場駐車場・自由広場
- ・スタジアム東側国有地



## ラグビーワールドカップ 2019™における東京スタジアムの会場運営計画の概要（新旧比較）

項目	平成 29 年 3 月時点	平成 30 年 10 月時点
芝フィールド	芝の耐久性を確保するため、ハイブリッド芝と天然芝の比較実験を実施する方向で検討	天然芝との比較実験により、スクラム等の負荷に対して高い耐久性が確認された <u>ハイブリッド芝を採用</u>
競技用照明	ラグビーワールドカップの基準に沿った照明を整備	インゴール周辺の照度を確保するため、 <u>スタジアム屋根下（4か所）に競技用照明を仮設置</u>
放送関連施設	放送事業者が国際放送のための映像編集等を行う施設の配置を検討	国際放送のための施設の配置場所として、 <u>スタジアム北側駐車場の一部を利用</u>
ホスピタリティ・スペース	<p>[大会ゲスト用] メインスタンド側レセプションルームを利用</p> <p>[スポンサー・ホスピタリティプログラム購入者用] スタジアムバックスタンド側諸室、武蔵野の森総合スポーツプラザのメインアリーナを利用</p>	<p>[大会ゲスト用] 変更なし</p> <p>[スポンサー・ホスピタリティプログラム購入者用] 左記に加え、<u>武蔵野の森総合スポーツプラザのサブアリーナを利用</u></p>
交通輸送	<p>[シャトルバス乗降場] スタジアム北側広場に観客用シャトルバス乗降場を設置</p> <p>[駐車場] 大会ゲストやスポンサー等の関係車両のための駐車場の配置を検討</p>	<p>[シャトルバス乗降場] 変更なし</p> <p>[駐車場] <u>スタジアム周辺の既存駐車場等を活用</u>して、大会関係車両用の駐車場を確保</p>
メディア席	メディア席をメインスタンド上層席に仮設置	変更なし